An aerial photograph of a coastal town, likely Matsuyama, Japan. The foreground shows a dense grid of green fields and buildings. In the middle ground, a large, dark, forested island is visible in the sea. The background is a vast expanse of blue water under a clear sky.

松山市 風早レトロタウン構想

～昭和の賑わいを求めて～

概要版

平成25年3月
松山市

地域住民一人ひとりが 笑顔で暮らせる活気ある地域へ

構想が目指すもの

北条地域は、中世伊予の豪族である河野氏の足跡を色濃く残す歴史や文化を有し、鹿島や高縄山など豊かな自然に恵まれた魅力あふれる地域です。また、本市が進める『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想においてもサブセンターゾーンのひとつに位置づけられています。

しかし、鹿島への渡船利用者が年々減少傾向にあるなど、資源の魅力を十分に引き出せておらず、松山地区への通勤・通学による昼間人口の減少などにより、かつての賑わいが失われています。

このような現状を踏まえ、北条地域が抱える課題解決に向けた取り組みを進めることで、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気ある地域を目指します。

構想策定の趣旨

この構想は、地域全体の持続的な発展を目的に、地域住民、関係団体、行政が協働し、北条地域の振興を推進していくことを定めるものです。

対象期間

この構想の対象期間は、おおむね 10 年間を目標とします。

北条地域の構成

北条地域は、浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・粟井の7地区で構成しています。



テーマ

『昭和の賑わいを求めて』

テーマへの思い

昭和33年11月1日、北条市が誕生。それから合併までの約50年間、北条は昭和とともに発展を遂げてきました。家族や地域が深く結びつき、まちも人も暮らしも活気に満ちあふれる、昭和とはまさにそんな時代でした。

こうしたあの頃の賑わい、活気を求めることは、地域全体の活性化につながっていくものと期待されます。昭和の賑わいを求め、持続的な発展を目指した取り組みを様々な分野において推進していきます。

全体ビジョン

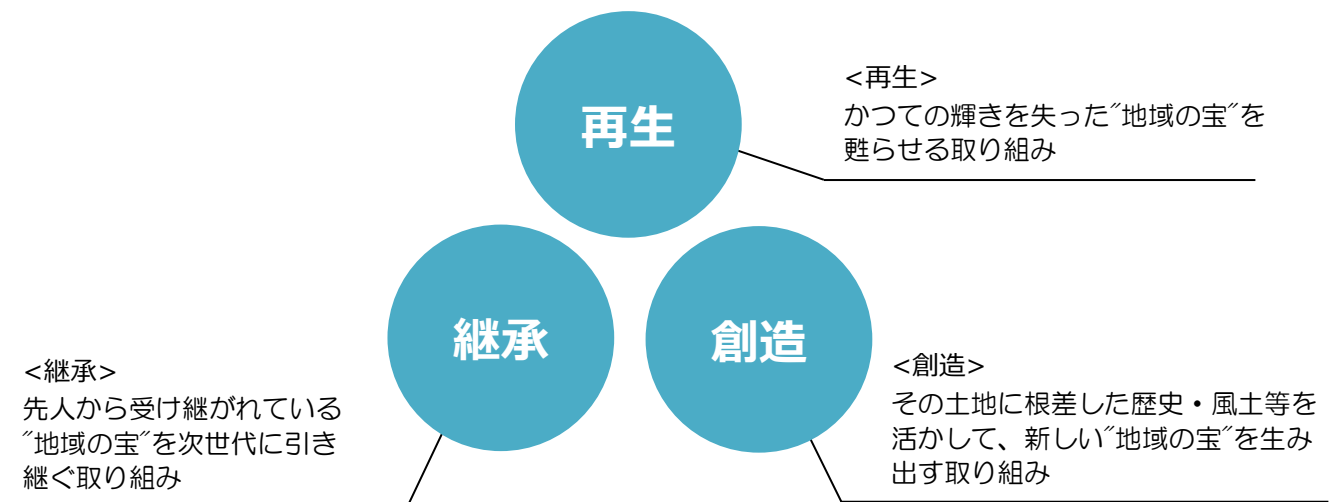
風早レトロタウン構想

「レトロ」とは懐かしいと感じる、いわゆる「懐古」のことであり、
時間を振り返ることで生まれる感情である。

風早レトロタウン構想とは、時間を「過去」「現在」「未来」に分け、

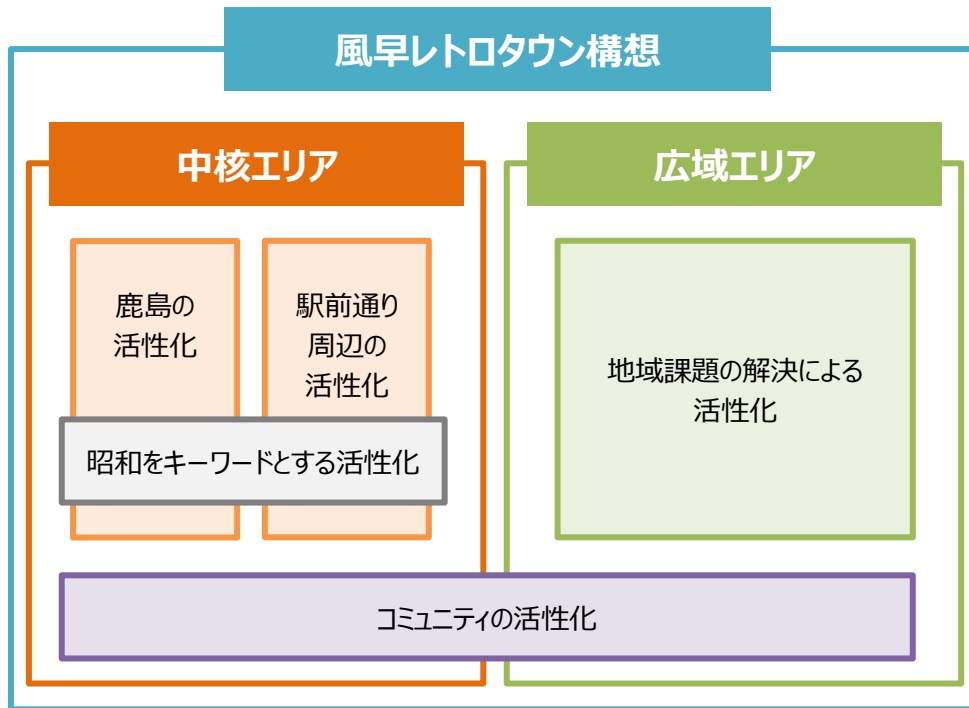
「過去」のものを「現在」へ（再生）
「過去」のものを「現在」から「未来」へ（継承）
新たなものを生み出し「未来」へ（創造）

この3つの視点で取り組み、「再生」「継承」「創造」することで、
北条地域の活性化の実現を目指すものである。



構想の考え方と進め方

風早レトロタウン構想は、「昭和の賑わいを求めて」のテーマのもと、「再生」「継承」「創造」の3つの視点で北条地域の活性化を目指し、中核エリアの活性化を起点として、3つのSTEP（STEP1 鹿島の活性化、STEP2 駅前通りの活性化、STEP3 北条地域の活性化）で進めます。



5つのポイント

風早レトロタウン構想は、北条地域の活性化の実現を目指し、以下の5つのポイントに基づいて取り組みを進めることで「再生」「継承」「創造」へとつなげていきます。

資源活用

地域の資源を様々な視点で見つめ直し活用することで、既存の魅力を磨き上げるとともに、新たな魅力の創出を図ります。

環境整備

景観、環境を整備し価値を高めることで、地域住民の満足度を高め、誇りを育むとともに、訪れる人にとっても魅力ある空間づくりを図ります。

情報発信

地域の魅力を効果的かつ効率的に伝えることで、一人でも多くの人の興味・共感につなげ、参加・共有へと広げていきます。

交流促進

集客を図ることに加え、訪れる人との交流の場をつくることで、地域住民の機運やおもてなしの心の醸成を図ります。

協働推進

地域住民、関係団体、大学、民間事業者、行政などが協働することで、それぞれの強みや役割を活かし、取り組みが継続する環境を整えます。

『中核エリア』

スローガン

ここから、ひとつに。

中核エリアを構成する 2 つの柱

『鹿島』と『駅前通り周辺』。

取り組み効果を最大化するために、

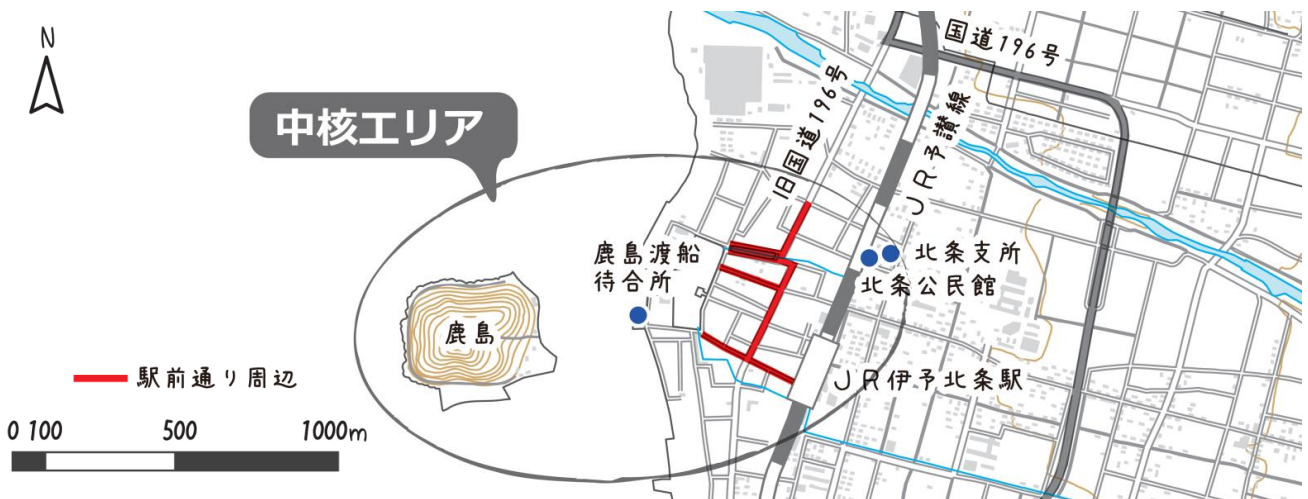
この 2 つを中心とした連携が求められる。

ここが『風早レトロタウン構想』の起点。

ここから全てが始まる。

全ては北条地域の活性化のために。

中核エリアの範囲



取り組み方針

鹿島と駅前通り周辺のそれぞれで取り組みを進めながら、お互いをつなぐ(連携)仕組みを構築し、中核エリア活性化の効果の最大化を図ります。

『情報発信』でつなぐ	『イベント』でつなぐ	『コミュニティ』でつなぐ
お互いの回遊を促すため、現地案内の充実やインターネットなどによる情報発信を進めます。	お互いの結びつきを強め、交流が生まれるように、中核エリア全体を舞台にしたイベントを進めます	地域住民、商業者、鹿島事業者、来訪者など、様々な人との積極的な交流を通じ、鹿島と駅前通り周辺の人と人とのつながりを強化します。

『鹿島』

Re 鹿島

かつての鹿島には多くの自然があった。

多くの人が集まり、賑わいがあった。

地域の誇る風光明媚な宝。

そんな鹿島をもう一度再生したい。

かつての鹿島を再び。

それが、Re 鹿島。



地域と行政が
一体となって、自然を守り
人が集う場所として
取り組みを進めたことで、
交流の場と癒しの場の
2つの顔をもつ島として
再生した鹿島。

賑わいと
静けさが調和され、
誰からも愛され
何度でも行きたくなる
場所となっている。

自然を活かした
学習会やアウトドアを
通じ交流を深める人や、
日々の喧噪を忘れ
ゆったりのんびり
過ごす人で、
地域内外から多くの人
が集まっている。



取り組みアイデア

資源活用

河野氏にまつわる旧跡や玉理・寒戸島（伊予の二見）など鹿島に残る多くの資源を見つめ直し、活用することで魅力化を図ります。昭和を切り口とした資源活用の検討も進めます。

取組 01 自然を活かした魅力づくり

主な内容：自然体験学習会の開催/ビューポイントの創出

取組 02 歴史文化を活かした魅力づくり

主な内容：文化財めぐりの開発/地元学の開催

取組 03 北条鹿島博物展示館の活用

主な内容：自然体験型企画展示/河野氏にまつわる企画展示

取組 04 昭和をキーワードとする活性化

主な内容：藤・桜の植樹/鹿島音頭・鹿島小唄の普及

環境整備

島全体の景観整備に努めるとともに、良好な森林環境の維持に向けた鹿対策や条件整備を図ることで、鹿島の価値を高めます。

取組 05 美しい景観づくり

主な内容：野生鹿対策/森林維持・管理

取組 06 魅力を高める施設整備

主な内容：鹿島博物展示館の整備/鹿島渡船建造

情報発信

興味・共感に繋がる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションにより鹿島の魅力を伝えます。

取組 07 多様な媒体を活用した魅力発信

主な内容：各種パンフレットの作成/イメージ映像の制作

交流促進

地域が一体となり、鹿島ならではの魅力あるイベントを打ち出し集客を図ります。

取組 08 島を舞台としたイベント

主な内容：風早レトロまつり/地域主催のイベント

取組 09 集いの場づくり

主な内容：キャンプ・遠足の誘致/大しめ縄張り替えを活かした誘客

協働推進

地域住民や各種団体などが連携し、それぞれの強みや役割を活かすことで継続する取り組みを行います。

取組 10 地域主体の組織づくり

主な内容：地域協働組織の推進

『駅前通り周辺』


期待をカタチに

かつて駅前通り周辺は多くの人が行き来していた。
多くの店が立ち並び、子どもの笑い声が響いていた。
それが今では店が減り、人が減り、活気がなくなった。

ここを訪れる理由がなくなっている。

今この場所に必要なこと、
それは、訪れるための動機づけ。

『行こう』をつくろう。



住民や商店主、
学生などが連携し、
掘り起こした地域の宝や
資源を活かした取り組みを
進めたことで、
まちに賑わいが
戻ってきた。

ほっとする雰囲気や
元気なお店、
人とのあたたかい交流が
訪れるきっかけを生み、
子どもからお年寄りまで、
多くの人が集まる
コミュニティの場として、
誰もが楽しい時間を
過ごしている。

鹿島の魅力と
相まって、
常にわくわくする
まちとして成長を続け、
ここでの活気は
北条地域全体に
広がっている。

取り組みアイデア

資源活用

空き地・空き店舗などを活用した商業・サービス施設の集積を目指すことで魅力化を図ります。昭和を切り口とした資源活用の検討も進めます。

取組 11 商店の魅力向上

主な内容：商店街の空洞化対策/商業者向け講座・研修

取組 12 郷土料理を活かした魅力づくり

主な内容：鯛めしのブランド化/食文化の掘り起こし

取組 13 昭和をキーワードとする活性化

主な内容：日曜市の開催/道踊りの復活

環境整備

商業機能に加え、複合的な集客・交流機能の形成や、既存資源とのネットワーク化を図ることで、駅前通り周辺の価値を高めます。

取組 14 魅力ある景観づくり

主な内容：統一的なまちの演出/歩行者の安全確保

情報発信

興味・共感につながる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって駅前通り周辺の魅力を伝えます。

取組 15 多様な媒体を活用した魅力発信

主な内容：各種パンフレットの作成/商店街の誘客・宣伝活動

交流促進

地域住民や商業者が主体となり、地域ならではの魅力あるイベントを打ち出し集客を図ります。訪れる人との交流機会を設けることで、地域の活力を育みます。

取組 16 駅前通り周辺を舞台としたイベント

主な内容：風早レトロまつり/商い賑わいの支援

取組 17 コミュニティの場づくり

主な内容：地域グループの活動/地域交流拠点の場づくり

協働推進

地域住民や各種団体などが連携し、それぞれの強みや役割を活かすことで継続する取り組みを行っていきます。協働に向けた人材発掘・育成にも取り組みます。

取組 18 地域主体の組織づくり

主な内容：地域協働組織の推進

『広域エリア』

スローガン

北条地域はひとつだ

北条という名前があるということ。
それはつまり、つながっているということ。
7つの地区がつながり、ひとつになる。
過去からつながってきたこの北条を、
未来のためにもひとつにするのは、
今いる私たちの使命だ。

あさなみ

浅海地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

若手の農業や漁業の後継者が増え、地域全体に活気が戻ってきた。
若者の定住により子どもの数も増えたことで、ふれあいの場や獅子舞
などの伝統文化を継承できる場づくりが生まれている。地区内を通る遍
路道を活かし、人情に厚い雰囲気づくりに余念がない。

住民主体の取り組みアイデア

- 取り組みアイデア 01 : 自然を活かすクリーンな魅力づくり
- 取り組みアイデア 02 : 厚い人情の田舎リゾート
- 取り組みアイデア 03 : まちの担い手づくり



たていわ

立岩地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

自然の中で子育てを望む若者の定住が増え始め、運動場から聞こえてくる子どもの声が賑やかになった。お年寄りや子どもとの交流の場が増えたことで生きがいの一つとなり、健康で長生きできる環境となった。新たに考案した山の幸を活かした産品が好評を博し、多くの人々が食事や買い物に訪れ、新たな産業に結びついている。

住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 山・川・田園の魅力みがき

取り組みアイデア 02 : 来訪者を受け入れる場づくり

取り組みアイデア 03 : 住民支え合いの地区づくり



なんば

難波地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

農業後継者として若者が戻り始めたことから、子どもの数も増え始めている。お年寄りを中心に、先人が守り受け継いできた伝統文化の継承が盛んに行われ、三世代交流の場が多くなった。また地区に残る自然の素晴らしさを学ぶ機会をつくり、地域内外の人に難波への愛着を深める取り組みを進めている。

住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 各団体連携による自然の魅力みがき

取り組みアイデア 02 : 郷土愛の醸成と絆づくり

取り組みアイデア 03 : 文化・芸能の後継者育成



まさおか

正岡地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

農業の後継や工業団地企業への就職など働く場所ができ、地区外からも住み始め、新旧の住民で構成する若者グループのメンバーが増えた。若者グループは秋祭りだけでなく、伝統芸能の保存やホタルの育成など地区の文化や自然を活かした活動にも、お年寄りや女性と協力し合い、次世代の正岡を担う子どもたちを育てている。

住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 子育て一番のまち

取り組みアイデア 02 : お年寄りの活躍の場づくり

取り組みアイデア 03 : 笑顔あふれるコミュニティづくり



ほうじょう

北条地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

地区外から若い経営者が空き店舗に入り、若者が集える場所を作っている。新旧の住民の付き合いも活発となり、ともに地域を盛り上げる原動力となった。また女性が地域の活動に積極的に参加し、お年寄りが子どもたちに伝統行事を伝授する場づくりが進むなど、老若男女の交流と団結力が深まっている。

住民主体の取り組みアイデア

取り組みアイデア 01 : 団結力の強化

取り組みアイデア 02 : 祭りなどによる賑わいづくり

取り組みアイデア 03 : 安全安心なまちづくり



この 河野地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

河野氏の歴史を顕彰し伝統芸能や史跡などを伝承・保存するとともに、高縄山や河野川などの自然環境の保護にも取り組んでいる。この活動が魅力向上につながり、若者を含む多くの定住者が増えた。その若者の中からリーダーが育ち、リーダーを中心に三世代間交流の場づくりが進んでいる。

住民主体の取り組みアイデア

- 取り組みアイデア 01 : 世代を超えた結びつきの強化
- 取り組みアイデア 02 : 河野氏をはじめとした地域資源の伝承
- 取り組みアイデア 03 : 地区リーダーの育成



あわい 粟井地区

まちづくりものがたり(将来の活性化の姿)

新興住宅が造成され、人口が増え活気にあふれている。もともとの住民は、移住してきた人々との交流を図ろうと、地域行事に積極的に誘い、みんなで支え合うまちづくりが進んでいる。また山や海・川など自然を活かした新たな魅力づくりにも取り組み、住む人も訪れる人も楽しめる地区になっている。

住民主体の取り組みアイデア

- 取り組みアイデア 01 : 心の通う近所づきあい
- 取り組みアイデア 02 : 自然を活かした名所づくり
- 取り組みアイデア 03 : 支え合う地域活動の推進



取り組みアイデア

資源活用

河野氏にまつわる資源や地場産品など北条地域の宝を活用することで、魅力化を図ります。

取組 19 地域の宝を活かした魅力づくり

主な内容：河野氏の顕彰/新たな名所づくり

取組 20 地域産業の活性化

主な内容：地場産品の普及/道の駅の機能強化

環境整備

快適で住みやすい居住環境を維持しながら、集客・交流機能の形成や、利便性の高い住環境への向上などを図ることで、広域エリアの価値を高めていきます。

取組 21 暮らしを支える機能整備

主な内容：街路・幹線道路整備/ため池整備

取組 22 交流施設の整備

主な内容：リフレッシュパーク整備/波妻の鼻の活用

取組 23 良好な景観づくり

主な内容：高縄山環境保全/ボランティアによる清掃活動

情報発信

興味・共感に繋がる効果的な情報発信を行うなど、戦略的なプロモーションによって広域エリアの魅力を伝えます。

取組 24 多様な媒体を活用した魅力発信

主な内容：各種パンフレットの作成/イメージ映像の制作

交流促進

地域住民が主体となり、地域ならではの魅力あるイベントを打ち出し交流を図ります。

取組 25 地域を舞台としたイベント

主な内容：ダンジリを活用したイベント/各種スポーツイベント

取組 26 生涯学習の場づくり

主な内容：立岩ダッシュ村農業体験学習/地域活動の充実

協働推進

地域住民や各種団体などが連携し、地区の枠を超えた取り組みを進めます。

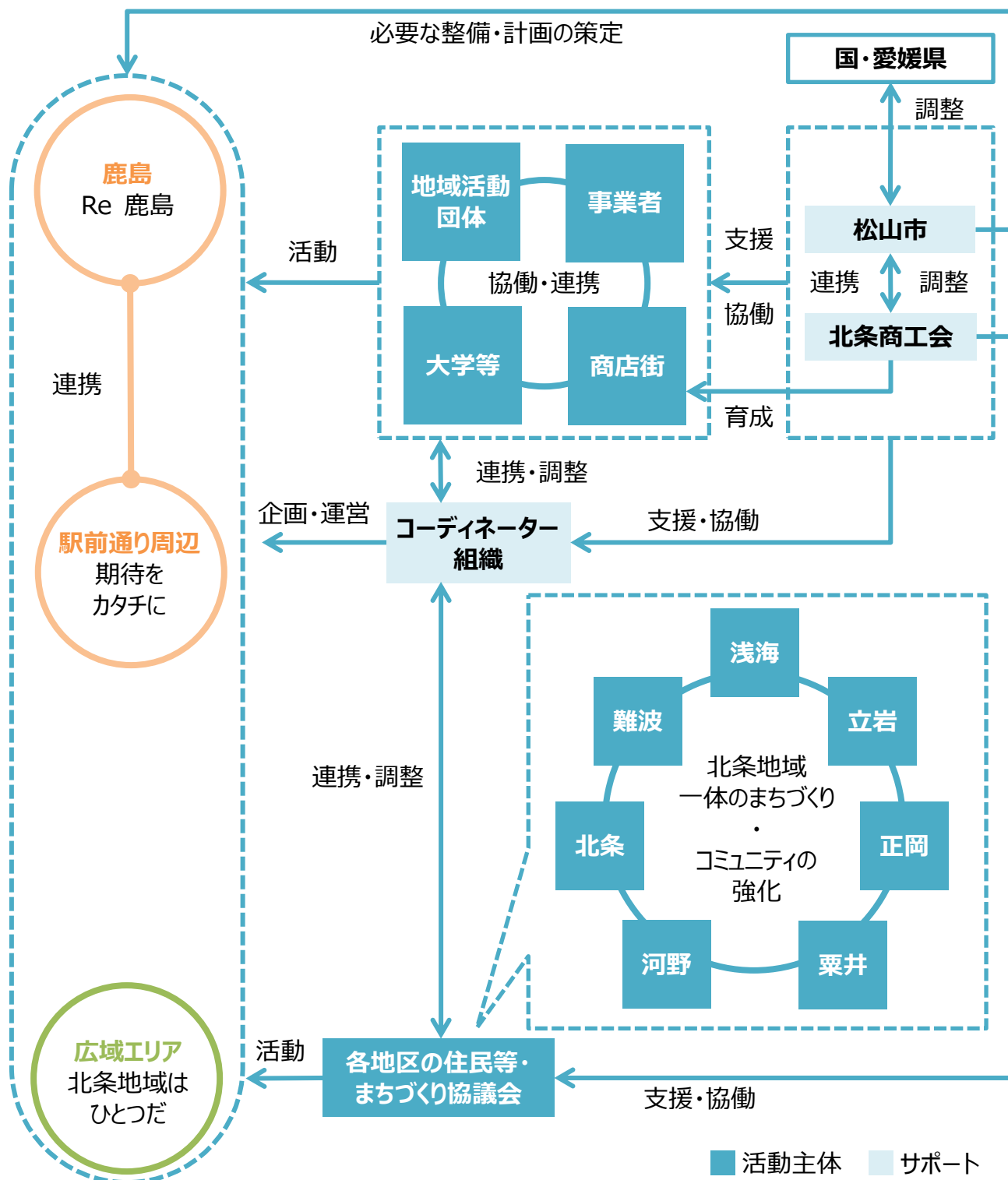
取組 27 地域主体の組織づくり

主な内容：地域協働組織の推進

地域が一体となって取り組みを進めます

構想実現に向けた連携体制

地域住民、事業者、NPO、まちづくり協議会、商工会、商店街、大学、行政が連携し、北条地域の活性化に向け、まちづくりを進めます。さらに、関係団体の代表者などを構成メンバーとするコーディネーター組織を設置し、地域が一体となった取り組みを企画・運営していきます。



松山市

風早レトロタウン構想



松山市役所 総合政策部
坂の上の雲まちづくり担当部長付
TEL:089-948-6991
FAX:089-934-1804